

注目作家紹介プログラム チャンネル2

イチハラヒロコ 大西伸明

【開催趣旨】

今日の芸術表現はこれまで以上に自由に、大胆に、多様になってきています。昨年度からはじまった注目作家紹介プログラム“チャンネル”はこうした「私たちの時代」の魅力あふれる表現を紹介することを目的としています。

第2回目となる今回は、神戸ビエンナーレと連携して2人の作家をご紹介します。

イチハラヒロコ(1963-)は、言葉だけを使ったユーモアあふれる作品を生み出す作家です。シンプルで真理をついた力強い言葉。思っても言えない、恥かしいけれど本当の気持ち。ゴシック体の文字だけで表現される作品は一度見たら忘れることはできません。そのユーモアあふれる作品は、これまでとは異なる視点から美術の楽しさを教えてくれるでしょう。

大西伸明(1972-)は、私たちの身の回りにある物を型どりして作品を生み出す作家です。その作品は、本物と見まちがえるほど精巧なものですが、単純に「本物そっくり」というのとは異なる魅力たたえています。例えば不慮の事故で壊れてしまった石膏像が、まったく同じように並んでいる、というように、ふたつあるはずのないものがふたつある不思議。さめない夢をみているような、ミステリアスな魅力に満ちた展覧会です。

本展は、神戸ビエンナーレ2011連携事業として開催しております。

私たちと同じ時代を生きるアーティストの表現にふれる新しい機会となれば幸いです。

【会 期】

2011年10月1日(土)～11月23日(水・祝) 会期中無休

開館時間 午前10時～午後6時

【会 場】

兵庫県立美術館のさまざまな場所、カフェ

【主 催】

兵庫県立美術館

【後 援】

財団法人伊藤文化財団

【協 賛】

旭化成ワッカーシリコン株式会社、ディーエイチ・マテリアル株式会社

【展示内容】

両氏とも、出品作品のほとんどが本展のための新作です。

イチハラヒロコは、16作品を予定。来館者は、展覧会場以外の思いがけない場所で作品と出会うでしょう。

また大西伸明は、「ふたつ」という数にこだわりながら新たな試みを行います。

【観覧料】

無料（ただしイチハラヒロコ作品展示のカフェの鑑賞には飲食代金が必要）

【問合せ先】

兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1

TEL 078-262-0901 <http://www.artm.pref.hyogo.jp/>

展覧会の内容に関すること:企画担当学芸員 小林公

TEL 078-262-0909 FAX 078-262-0913

情報提供・広報に関すること:営業・広報グループ

TEL 078-262-0905 FAX 078-262-0903

神戸ビエンナーレ 2011全般に関すること

神戸ビエンナーレ組織委員会事務局 〒神戸市中央区加納町 6-5-1 神戸市役所 2号館1階

TEL 078-322-6490 FAX 078-322-6136

作家紹介

イチハラ ヒロコ

1991年 個展「この人ゴミを押しわけて、はやく来やがれ、王子さま。

(HB ギャラリー、東京)以後個展多数。

1993年 個展「スパイラルで、やるらしいで。ほ、ほんまか。」

(スパイラル、東京)

1994年 個展「私のことは、彼にきいて。」(水戸芸術館、茨城)

1995年 個展「悪いけどこの恋はにがさん。」(吉祥寺パルコ、東京)

2000年 「空き地」(豊田市美術館)

2001年 横浜トリエンナーレ 2001

2004年 金沢 21 世紀美術館開館カウントダウン・ボード設置(金沢)

2005年 「愛と孤独、そして笑い」(東京都現代美術館)

2006年 個展「愛と笑いの日々。」(鎌倉画廊、神奈川)

2006年 「ギャラリー・ラボ 2007: イチハラヒロコ + 箭内新一『プレイ

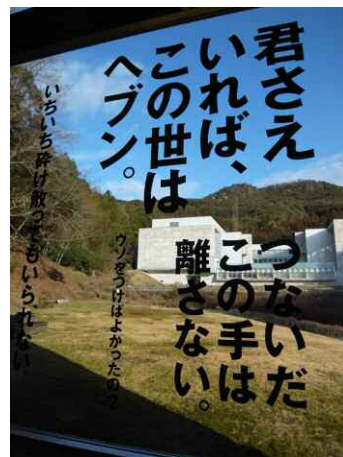
ルーム。』」(京都国立近代美術館、以後毎年開催)



(イチハラヒロコさん顔写真)



(おかげ様で天下無敵。。。)
マキハウスショールーム
(福岡・天神のモデルハウスの壁面に
カッティングシート)
2009年



(君さえいれば。。。)
山口県秋吉台国際芸術村
(ガラスにカッティングシート)
2010年



(刈る。)
六甲ミーツアート芸術散歩 2010
(六甲山カンツリーハウスの芝生を刈る)
2010年

大西伸明

- 2004年 「Art Court Frontier 2004 #2」(アートコートギャラリー、大阪)
- 2005年 個展「Infinity Gray "memories"」(Studio J、大阪)
「Collection」(ノマル・プロジェクトスペース cube & loft、大阪)
「『版画の力』倉敷展 - 西の現代版画の新世代たち - 」(加計美術館、倉敷)
- 2006年 個展「Desktop, Dress, Gray」(国際芸術センター青森ほか、青森)
- 2007年 「版という距離」(京都芸術センター、京都)
- 2008年 個展「LOVERSLOVERS」(入善町下山芸術の森発電所美術館、富山)
- 2009年 個展「垂直集め」(中京大学 C スクエア、名古屋)
「Reborn」(ギャラリーノマル、大阪)
- 2010年 「ふたつのセンス 大西伸明と杉浦慶太 存在と不在」(岡山県立美術館、岡山)



「eda」
50 × 18 × 6cm
2010年
エポキシ樹脂・ラッカー塗料



本展出品作
「LOVERS LOVERS #2」
2011年、
樹脂にアクリル絵の具
サイズ、可変



「doa」
108 × 100 × 11cm
2011年
エポキシ樹脂・ラッカー塗料

上記図版をプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

掲載されるときには、作者名、作品名、制作年等の情報を必ず記載してください。

神戸ビエンナーレ 2011 連携事業 同時開催展 注目作家紹介プログラム チャンネル2

営業・広報グループ 行

F A X (0 7 8) 2 6 2 - 0 9 0 3

希望写真(作品名)	
貴社名	
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット
ご担当者名	
ご住所	〒
電話番号	()
F A X 番号	()
メールアドレス	@
URL	
掲載・放送予定日	
写真到着日希望	

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または録画テープを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。

本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、下記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材、撮影はお断りいたします。

兵庫県立美術館 営業・広報グループ
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1
電話(078)262-0905